

2026年3月期 決算説明資料



JTP 株式会社

Connect to the Future

2026年6月8日



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.

I. 事業概要





JTP 株式会社

所在地

東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー14F

設立

1987年10月31日

社員数

459名（2026年3月31日時点）

事業内容

ICTシステム設計・構築・運用 / AIサービス開発
医療機器の輸入販売・保守

拠点

東京 / 栃木 / 大阪 / 福岡 / インド・デリー

上場市場

東証 スタンダード



事業領域

Outsourcing Business

ICTシステムの設計・構築・運用・保守等
アウトソーシング事業

Solution Business

ソーシング事業で培った
知見を自社ソリューションに転換



アウトソーシング事業



ICT教育

オンライン配信
e-ラーニング
集合研修



テクニカルサポート

マルチリンガル
L1-L2 サポート
24x365



システム構築

マルチクラウド
仮想化/セキュリティ
コンテナ/k8s



システム運用

オフサイト運用
オンサイト運用
ITIL準拠



医療システム

医療機器製造業/販売業
医療機器修理業
システム導入・運用支援



化学分析システム

GC/LC装置 ※
適格性確認(IQ/OQ/PQ)
LMIS※ 導入・運用支援

※GC:ガスクロマトグラフィー
LC:液体クロマトグラフィー
LIMS:ラボラトリー情報管理システム



ソリューション事業



Kyrios

クラウドトータル
ソリューション



生成AI
ソリューション



グローバル
ITスキルアセスメント



Learning Booster

ITスキルマネジメント
プラットフォーム



RedLens

予防型セキュリティ
ソリューション



daimon
AI-Driven Development Solution

AI駆動開発
ソリューション



薬機法対応
ワンストップサービス



グローバルIT人財
紹介サービス

事業概要



4つのセグメントで事業を運営

デジタルイノベーション

■ 人財育成コンサルティング

- 人財育成コンサルテーション
- スキルアセスメント
- 研修実施・運用

■ セキュリティ

- 企業向け予防型セキュリティソリューションの提案・実装
- 運用保守、改善活動

■ DX開発

- ThirdAI（サードアイ）を始めとするAI事業
- アプリケーション開発事業

ICT

■ システム設計・構築

- ICTシステムの設計・構築事業

■ システム運用

- ICTシステムの運用
- リモート運用サービス (Kyrios/キリオス)

ライフサイエンス

- 医療機器、化学分析装置の保守サービス
- 海外医療機器メーカー向けコンサルティングサービス
- ライフサイエンス分野のICTサービス

その他（海外）

- グローバルIT人財マッチングサービス「Reinforce HR」
- 海外事業

売上高構成比



ICT

売上高構成比 **52.8%**

■ システム運用

■ システム構築

デジタルイノベーション

売上高構成比 **26.9%**

■ 人財育成コンサルティング

■ セキュリティ

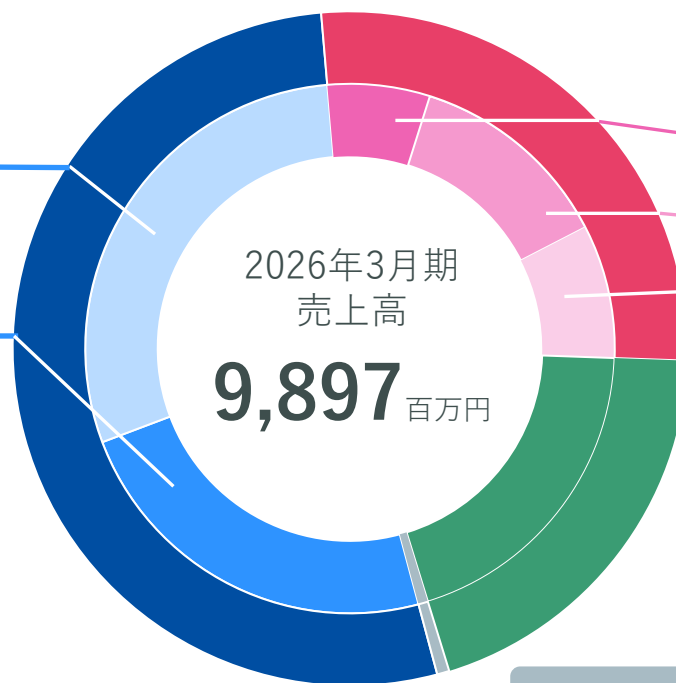
■ DX開発

ライフサイエンス

売上高構成比 **19.7%**

その他（海外）

売上高構成比 **0.6%**



II. 2026年3月期 決算実績

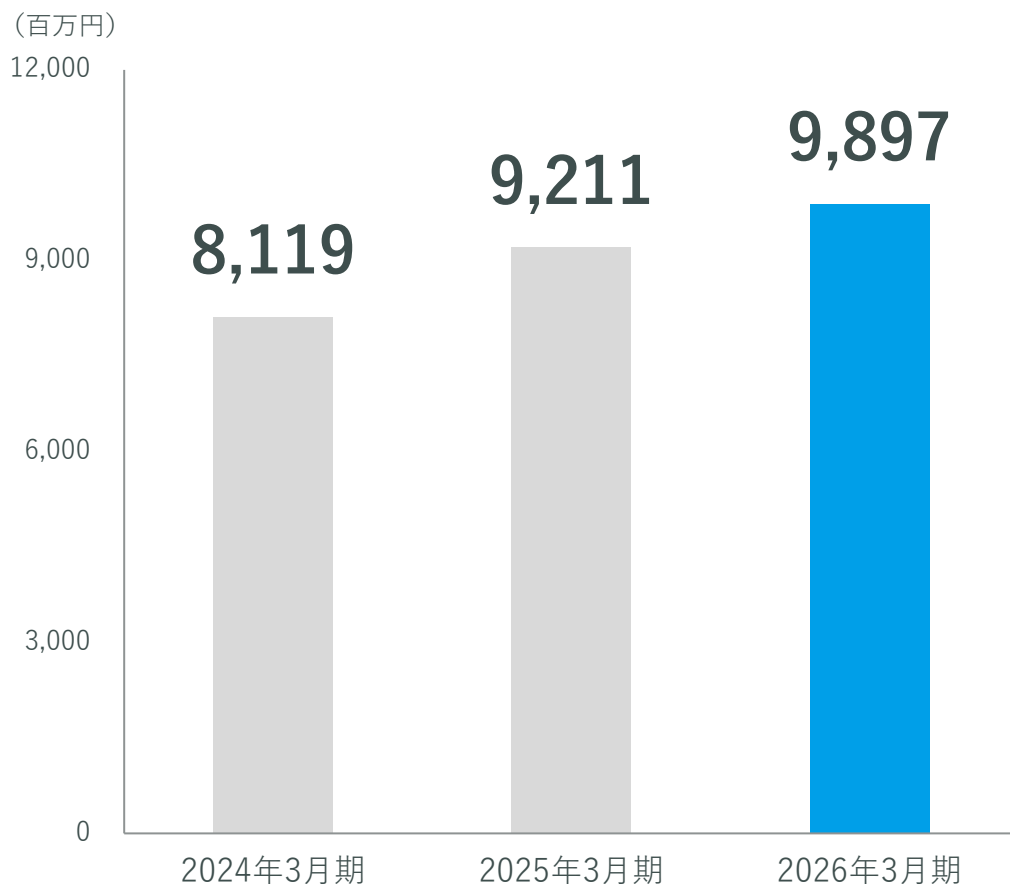


2026年3月期 決算のポイント



- ✓ AI技術進化により、事業環境は急速な変化局面
- ✓ ICT事業はシステム構築が伸長も、システム運用は減少
- ✓ デジタルイノベーション事業は、AI関連事業が拡大

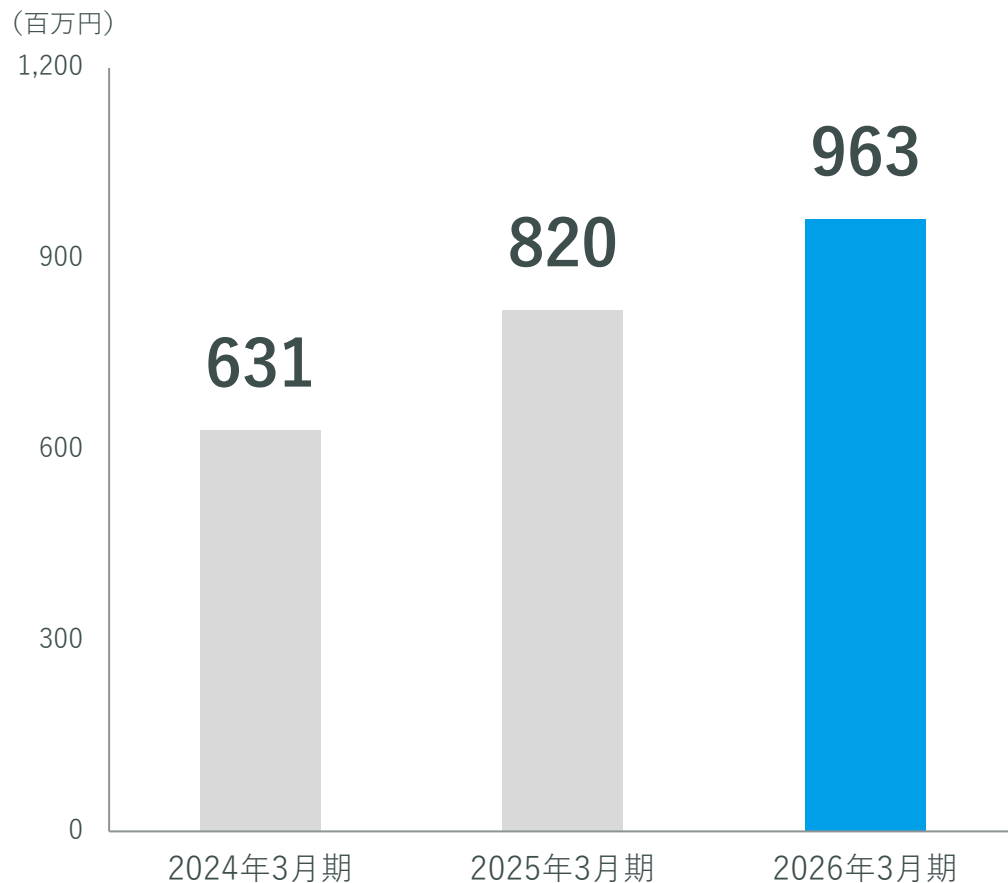
売上高



7.4%増収



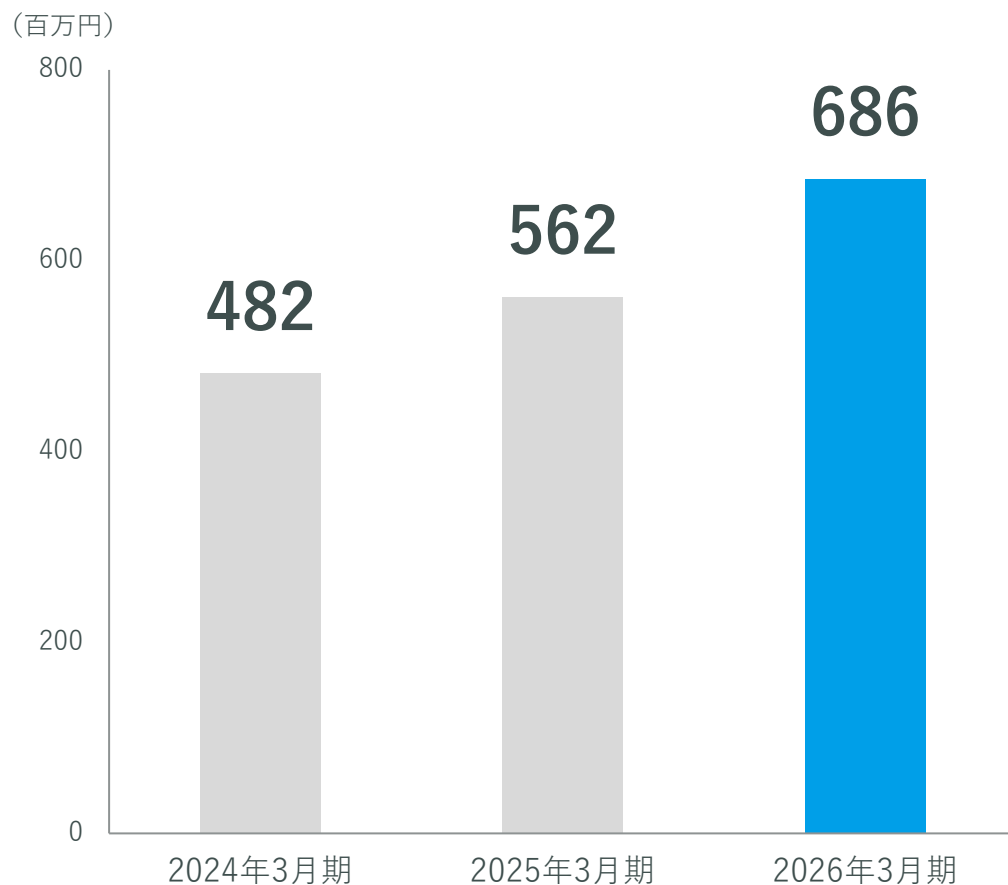
営業利益



17.4%増益



当期純利益



22.0%増益



2026年3月期 決算サマリー



(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期			
	実績	実績	増減額	業績予想	達成率 (%)
売上高	9,211	9,897	686	9,632	102.8%
営業利益	820	963	143	830	116.0%
経常利益	828	980	152	830	118.1%
純利益	562	686	124	600	114.3%



各事業セグメント売上高



		2025年3月期 通期	2026年3月期 通期		
(単位：百万円)					
事業セグメント	サブセグメント	実績	実績	前期比 (%)	増減額
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	573	618	+7.8%	+44
	セキュリティ	977	1,241	+27.0%	+264
	DX開発	686	806	+17.4%	+119
ICT	システム構築	2,059	2,317	12.5%	+258
	システム運用	2,957	2,907	△1.7%	△50
ライフサイエンス		1,922	1,947	+1.3%	+25
その他		33	58	+71.6%	+24
合計		9,211	9,897	+7.4%	+685

各事業セグメント利益



		2025年3月期 通期	2026年3月期 通期		
(単位：百万円)					
事業セグメント	サブセグメント	実績	実績	前期比 (%)	業績予想
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	147	194	+32.0%	110
	セキュリティ	43	53	+23.5%	65
	DX開発	△10	62	-	49
ICT	システム構築	528	467	△11.6%	655
	システム運用	705	680	△3.6%	685
ライフサイエンス		279	355	27.1%	290
その他		△4	△0	-	△4
全社		△869	△850	-	△1,023
合計		820	963	17.4%	830

セグメント別業績推移



デジタルイノベーション

人財育成ソリューション

- 生成AI関連の研修が増収増益に貢献

セキュリティ

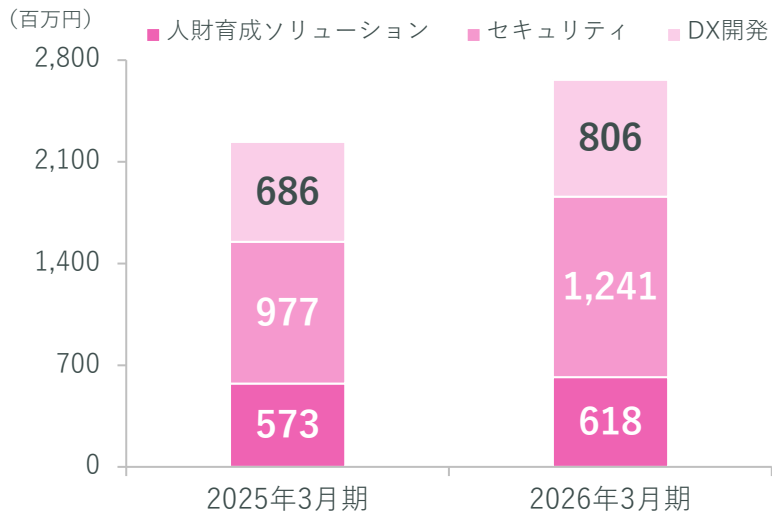
- 内部脅威対策ソリューションが順調に拡大し増収増益

DX開発

- Third AI、アプリケーション開発事業いずれも好調に推移し増収増益

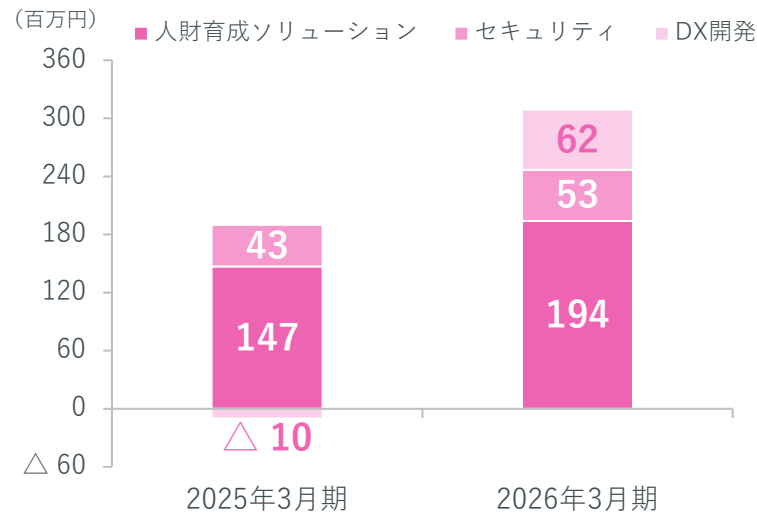
売上高

前期比 **19.1%増収**



セグメント利益

前期比 **72.8%増益**



セグメント別業績推移



ICT

システム構築

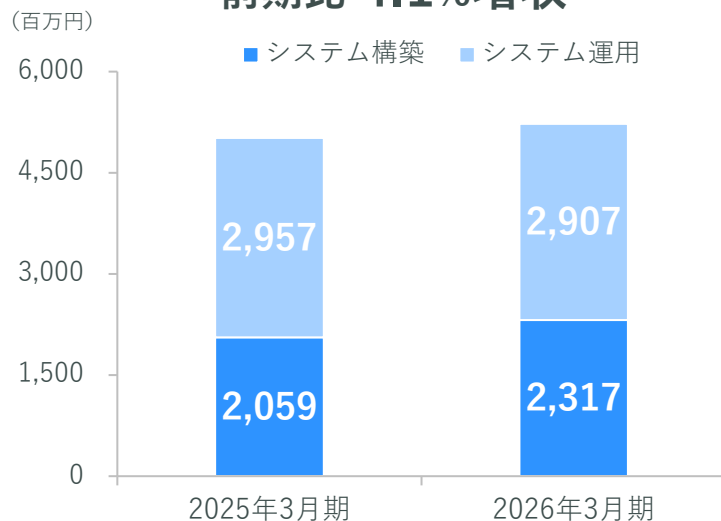
- ガバメントクラウド等のスポット案件受注により増収、高利益率案件の失注が影響し減益

システム運用

- クラウド運用サービス「Kyrios」伸長も、既存顧客への常駐運用サービスが減少し減収減益

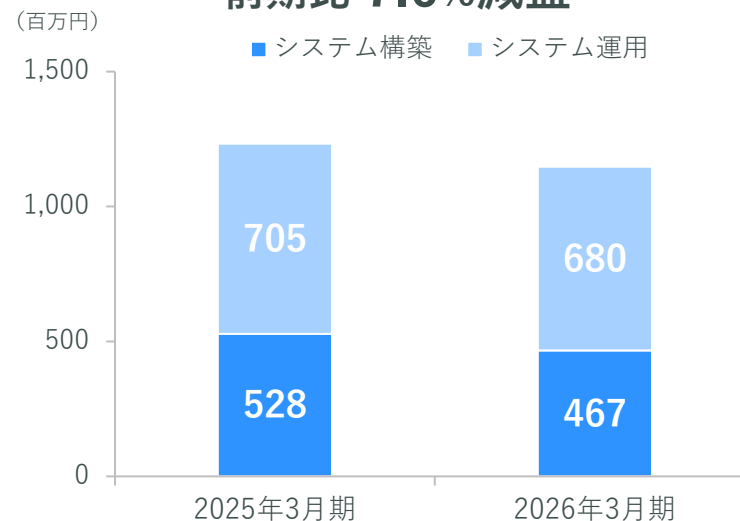
売上高

前期比 4.1%増収



セグメント利益

前期比 7.0%減益



セグメント別業績推移

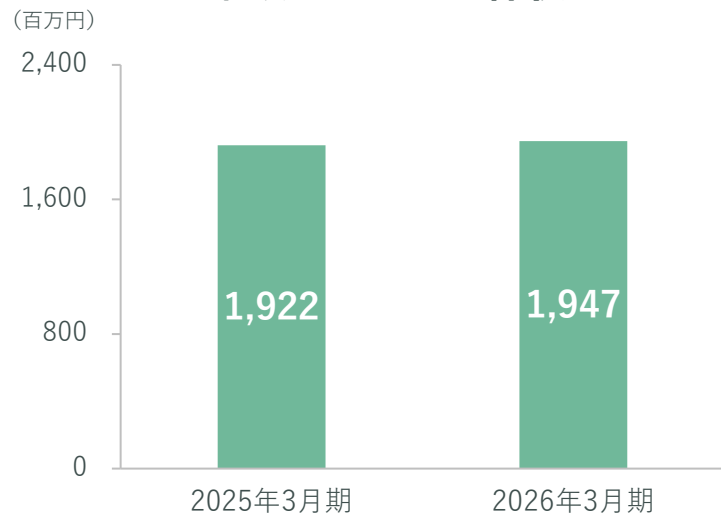


ライフサイエンス

- 医療機器の保守サービスとICTサービスが伸長
- 利益率の高い案件の獲得と人員配置の最適化により収益性が改善

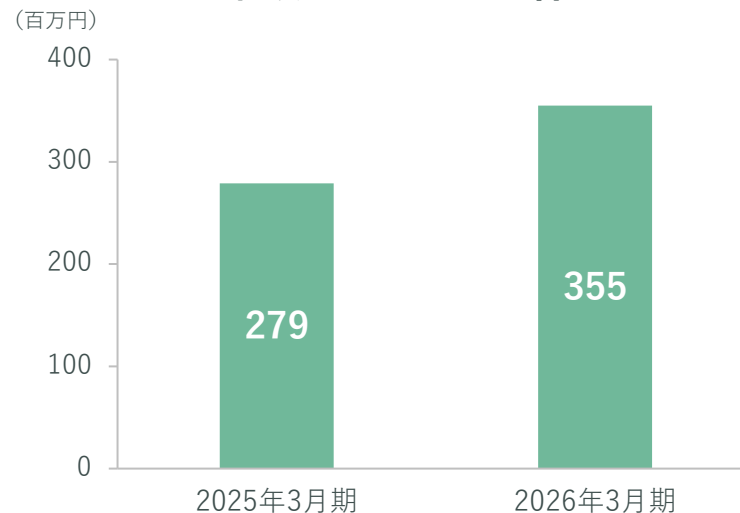
売上高

前期比 **1.3%**増収

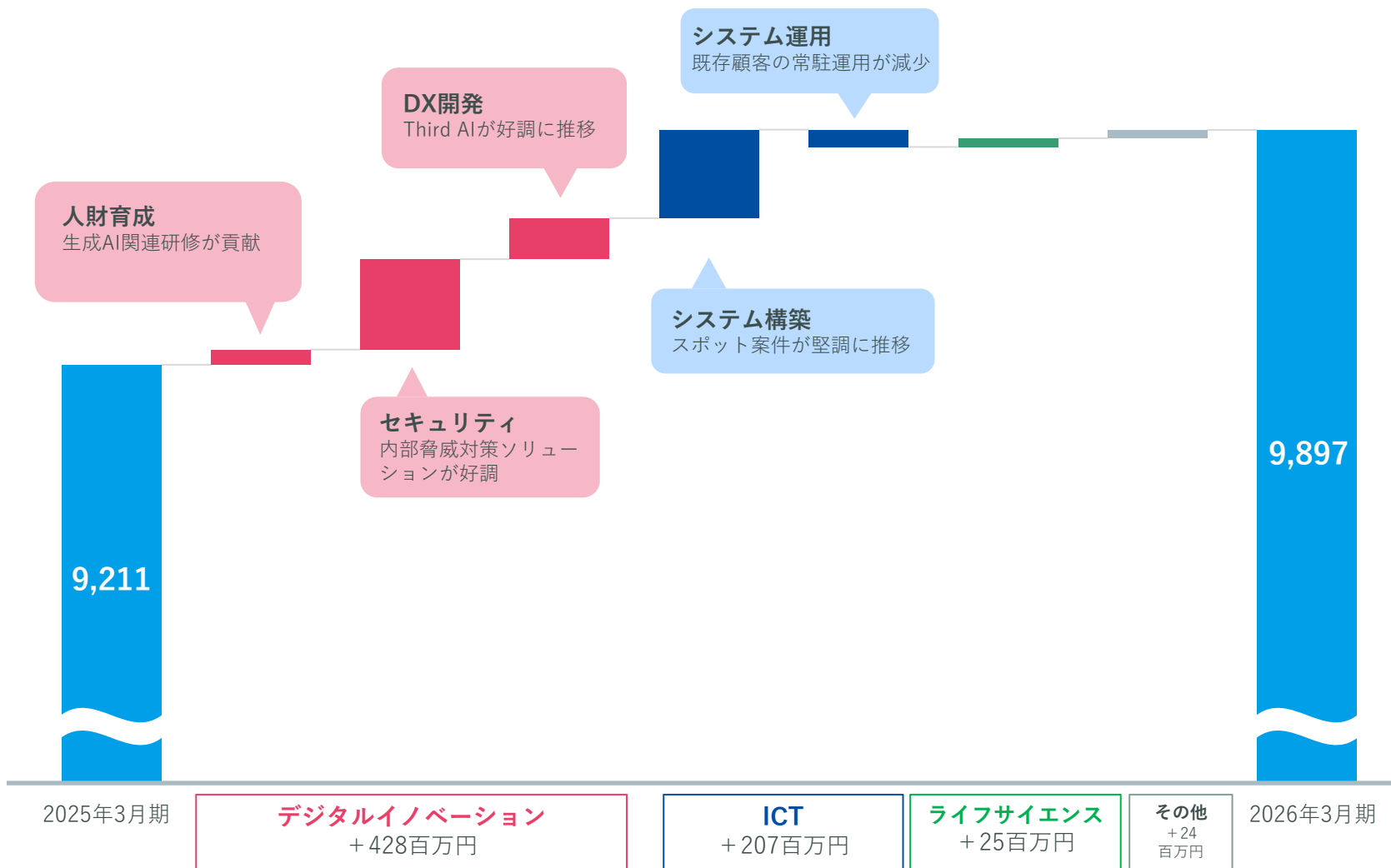


セグメント利益

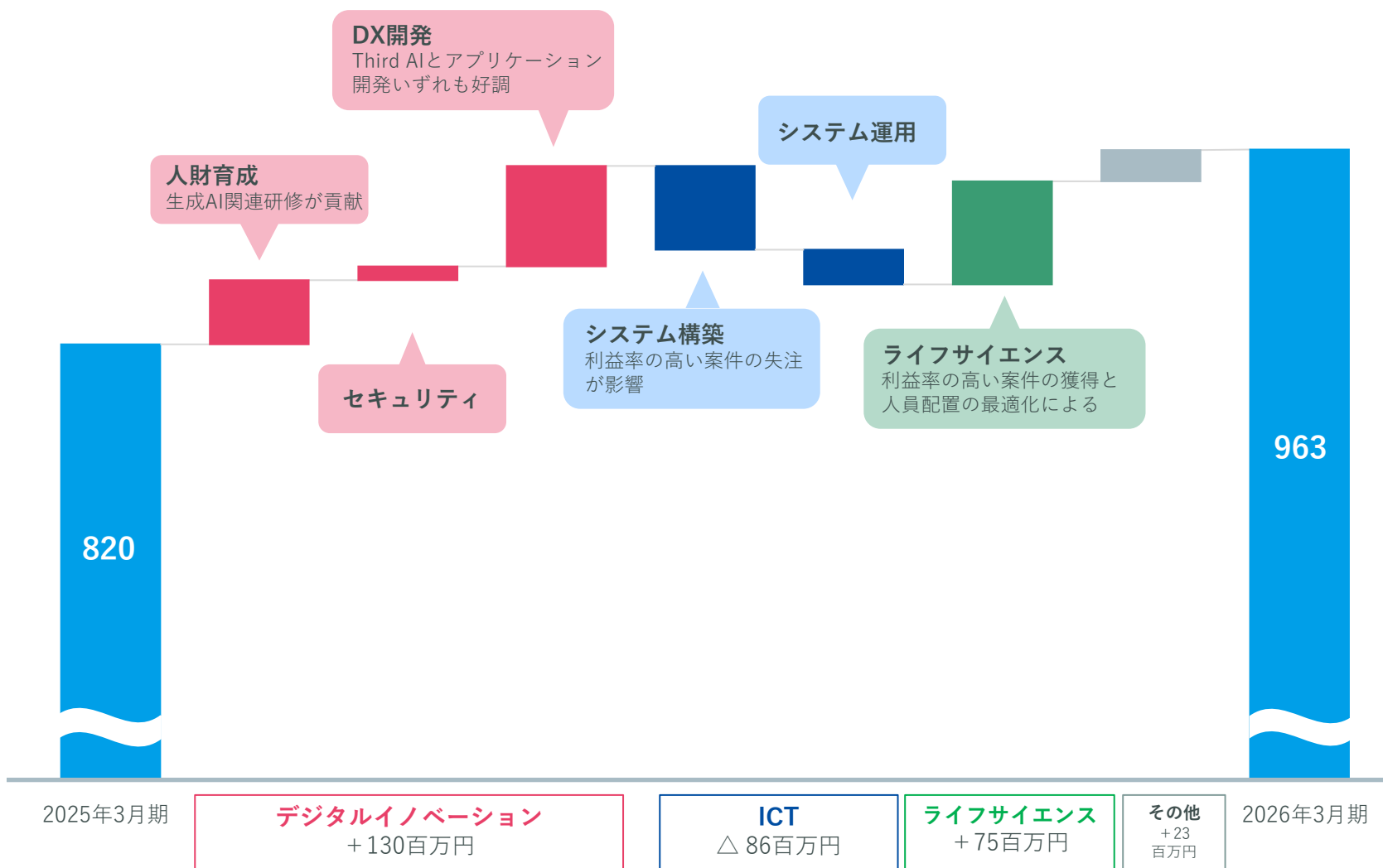
前期比 **27.1%**増益



売上高（増減分析）



営業利益（増減分析）



貸借対照表 (B/S)



健全な財務体質を維持

(単位：百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比
現金及び預金	3,295	3,548	+7.7%
受取手形、売掛金及び契約資産	1,480	1,765	+19.3%
仕掛品	22	4	△78.3%
有形固定資産	106	105	△0.5%
無形固定資産	54	33	△37.5%
投資その他の資産	528	569	+7.7%
資産合計	5,911	6,565	+11.1%
流動負債	1,506	1,736	+15.2%
固定負債	749	780	+4.2%
負債合計	2,255	2,517	+11.6%
株主資本	3,655	4,048	+10.7%
純資産合計	3,655	4,048	+10.7%
負債・純資産合計	5,911	6,565	+11.1%

キャッシュ・フロー (C/F)



➤➤ 安定したキャッシュフローを継続

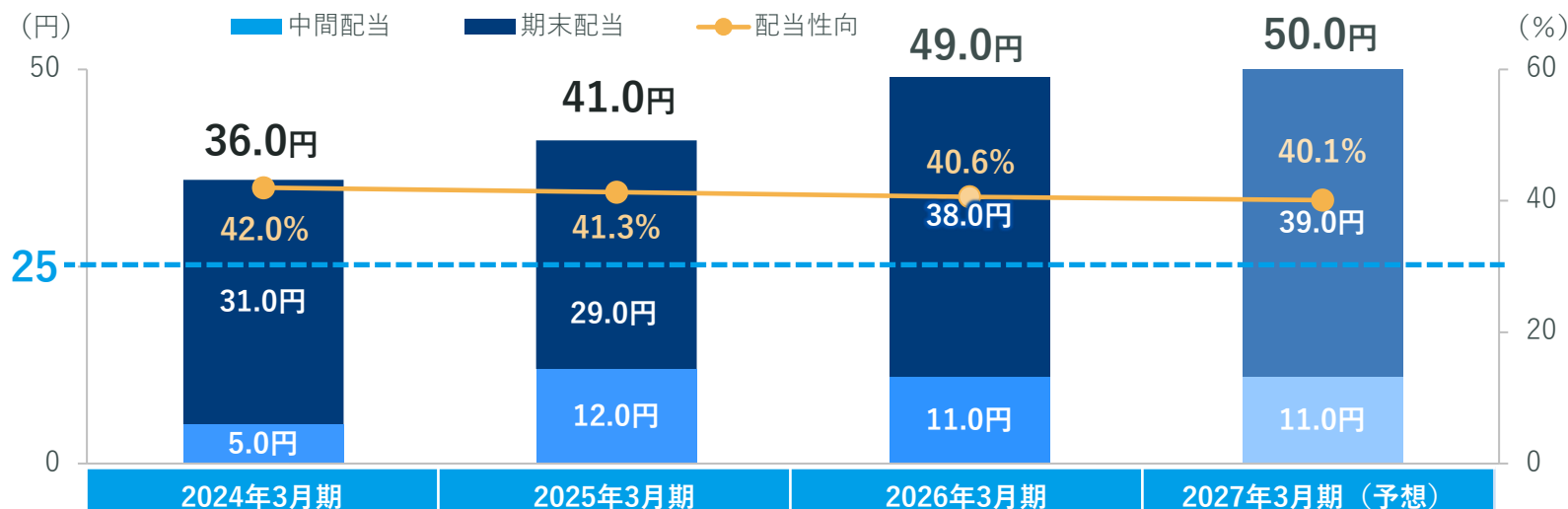
(単位：百万円)	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	776	733	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70	△ 100	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△242	△ 325	△83
現金及び現金同等物の期首残高	2,829	3,292	463
現金及び現金同等物の期末残高	3,292	3,598	306

株主還元



- 高水準の配当を維持し、3期連続増配を実施
- 資本効率の向上および経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、自己株式の取得を実施

自己株式取得
 上限 5億円
 上限 35万株
 期間 2026年8月まで



配当金(年間)	36.0円	41.0円	49.0円	50.0円
(期末配当)	31.0円	29.0円	38.0円	39.0円
(中間配当)	5.0円	12.0円	11.0円	11.0円
配当性向	42.0%	41.3%	40.6%	40.1%



III. 2027年3月期 業績予想



外部環境変化

➤ AIを起点とした事業環境の変化



当社への影響

- 一部業務が減少
- 利益率圧迫
- 成長分野は拡大



対応策

- 成長分野へシフト
- 人財投資強化
- AI領域集中

当社ポジション（成長領域）

➤ 成長領域は既に拡大中



DX開発

2026年3月期売上高 前期比 +17%



セキュリティ

2026年3月期売上高 前期比 +27%



全社営業利益率：9.7%へ改善



AI成長市場にポジショニング済み

成長戦略（投資）



➤ 競争環境変化に対応するため先行投資



人財採用・育成強化

前期比

+73%



マーケティング投資

前期比

+239%



AI/Data/Security技術力強化



成長機会を確実に取り込む

2027年3月期 決算予想サマリー



▶▶ 業界随一のイネイブラーに向けた事業の変革への投資を実行

(単位：百万円)	2026年3月期 通期	2027年3月期 通期	
	実績	予想	前期比 (%)
売上高	9,897	10,000	+1.0%
営業利益	963	1,000	+3.8%
経常利益	980	1,000	+2.0%
当期純利益	686	700	+2.0%



セグメント別業績推移予想



デジタルイノベーション

人財育成ソリューション

- 生成AI活用含むリスクリング研修事業の拡大

セキュリティ

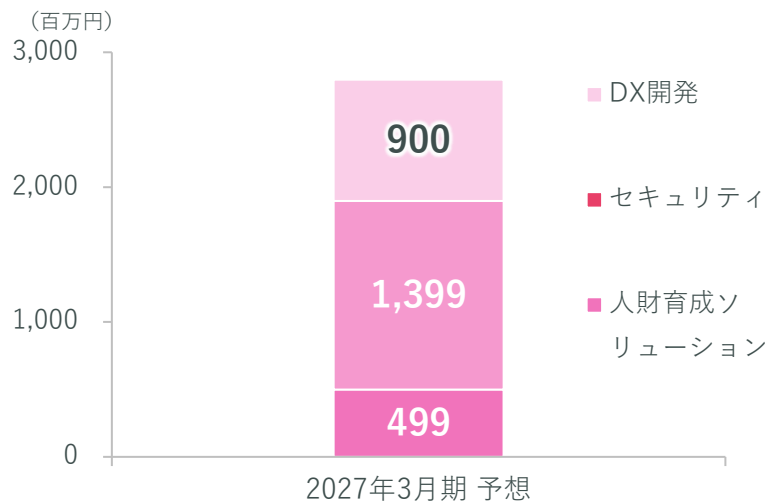
- 予防型セキュリティソリューションの拡大

DX開発

- 生成AI関連事業の拡大

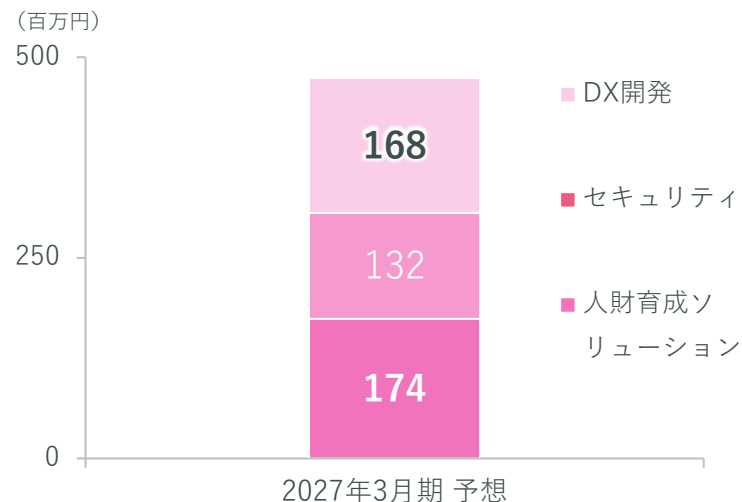
売上高

前期比5.0%増収



セグメント利益

前期比53.1%増益



セグメント別業績推移予想



ICT

システム構築

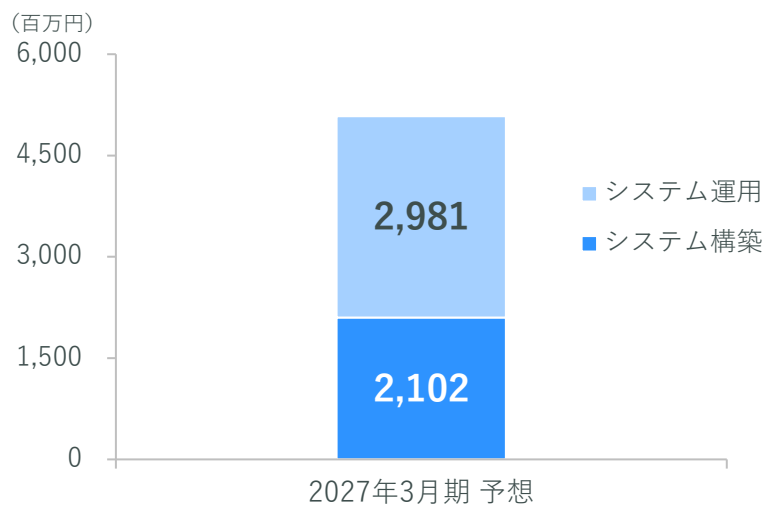
- 高付加価値の案件にシフト

システム運用

- AI活用による効率化・自動化を推進

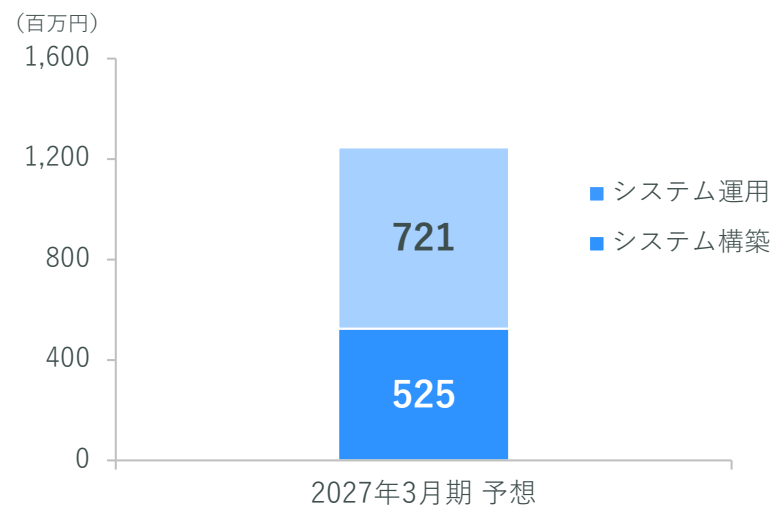
売上高

前期比2.7%減収



セグメント利益

前期比8.7%増益



セグメント別業績推移予想

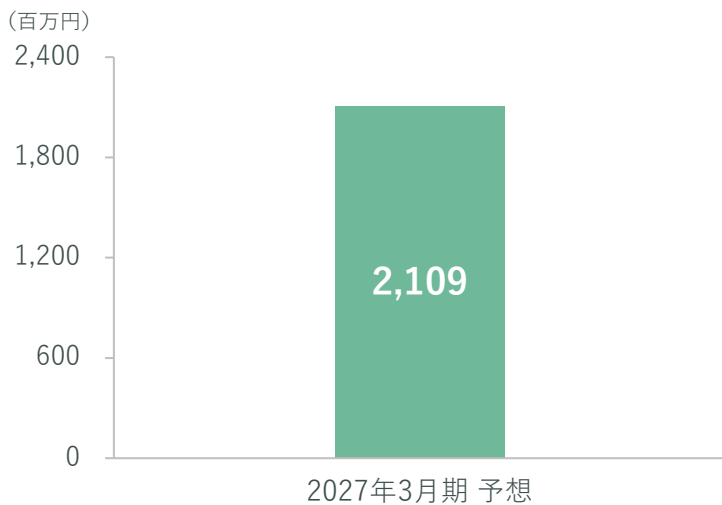


ライフサイエンス

- 病院・製薬企業向けのICTサービスの拡大
- 自社ソリューションサービスの販売

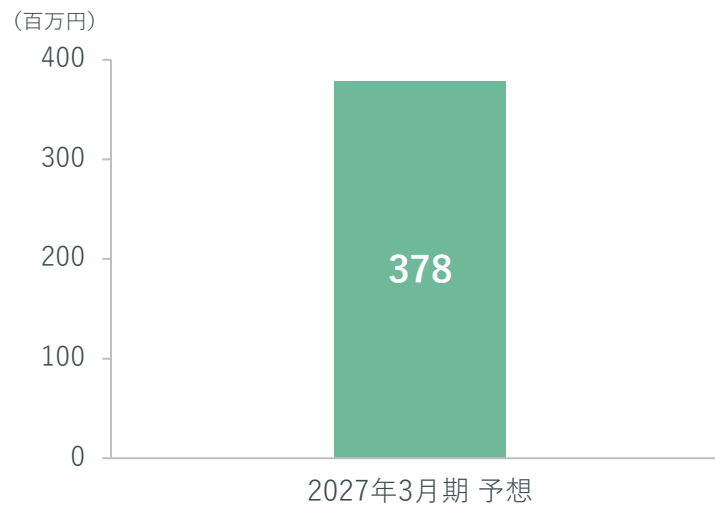
売上高

前期比8.3%増収



セグメント利益

前期比6.4%増益





Connect to the Future

JTP 株式会社

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

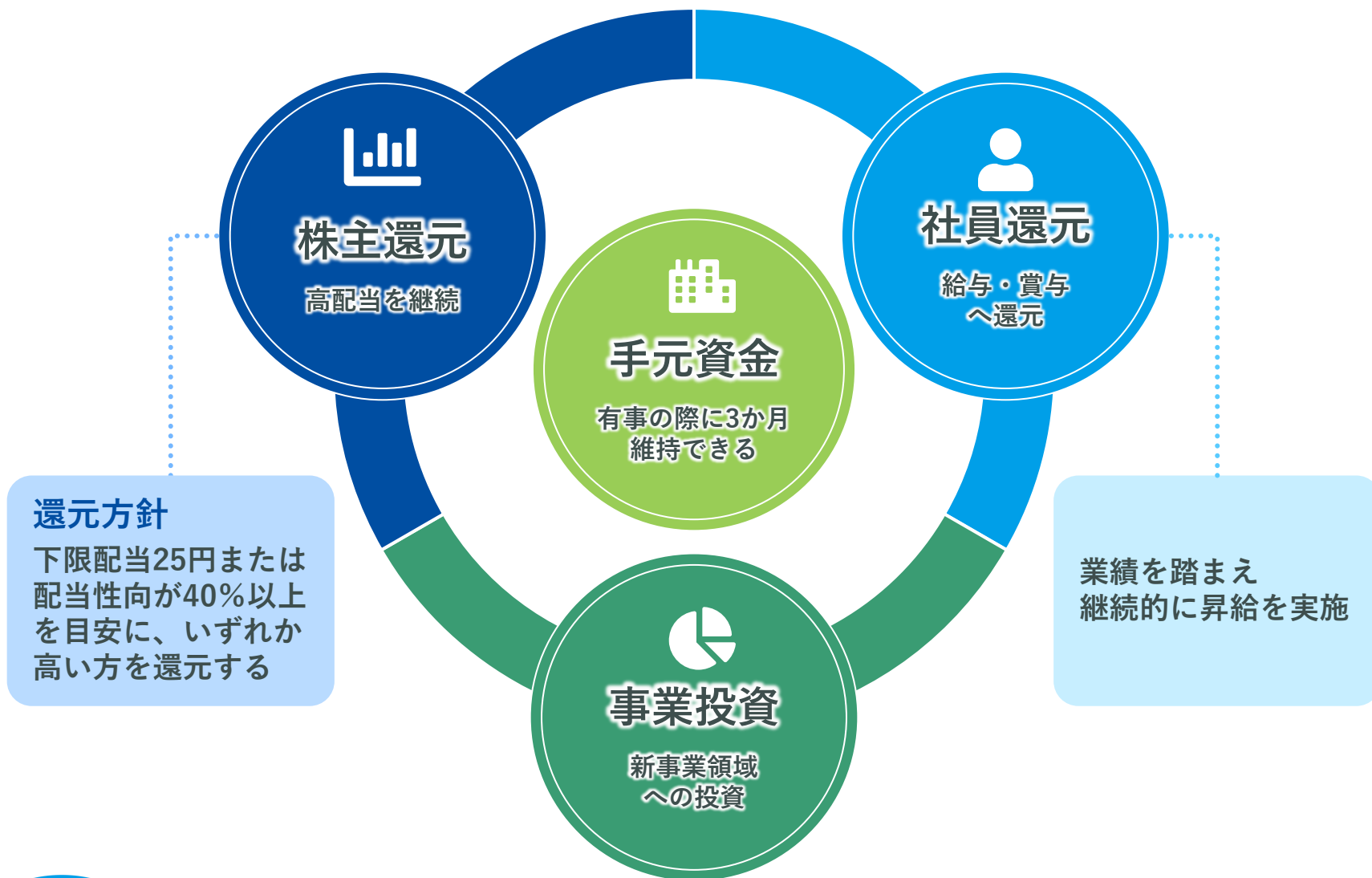


© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.

IV. 参考資料



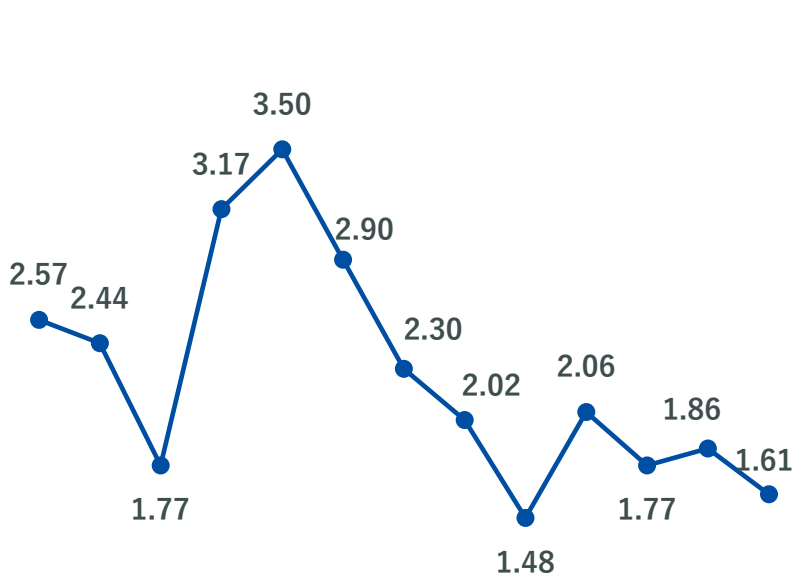
財務戦略（再掲）



企業価値向上にむけて（現状分析）



PBR（倍）



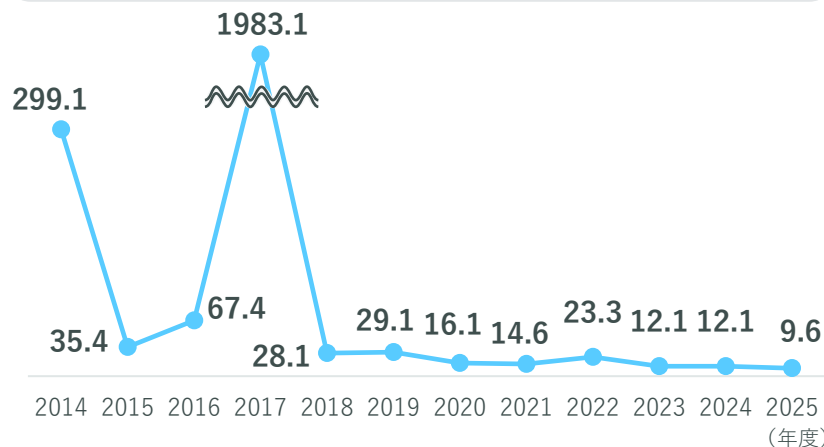
2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025
(年度)

ROE (%)



2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025
※2022年度以前は連結数値にて記載 (年度)

PER（倍）



2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025
(年度)



ストック型・フロー型ビジネス



セグメント別ビジネスモデルの売上状況

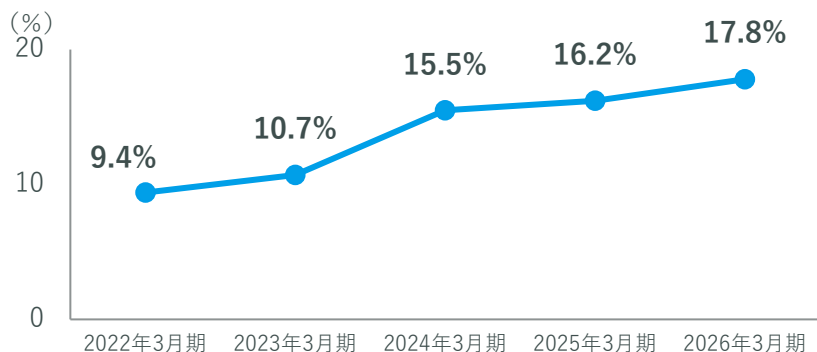
		2026年3月期		ストックビジネスの定義
		売上構成比		
事業セグメント	サブセグメント	ストック	フロー	
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	74%	26%	自社サービス（GAIT/Learning Booster）と 一部アウトソーシング契約
	セキュリティ	100%	0%	内部脅威対策関連サービス
	DX開発	75%	25%	ThirdAI関連サービス
ICT	システム構築	0%	100%	一部期間固定契約
	システム運用	100%	0%	ICTシステムの常駐運用サービス、 Kyriosサービス
ライフサイエンス		3%	97%	医療ICTの一部直接契約
その他		100%	0%	グローバルIT人財紹介サービス 「Reinforce HR（レインフォースエイチアール）」

過去5期指標推移



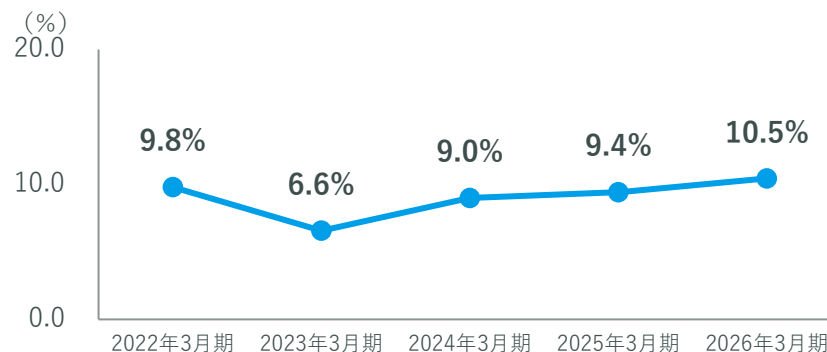
直近5期で、一定の自己資本比率を維持しながら、着実に利益を生む体質を構築。今後もこの水準を維持していく方針

ROE（自己資本利益率）



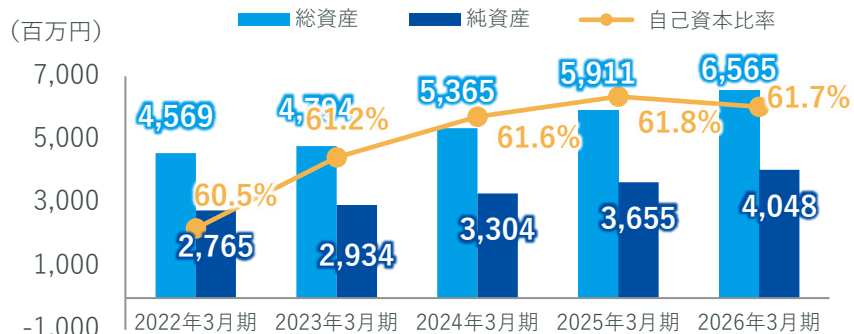
※出所：NIR提供データを弊社にて加工

ROA（総資産利益率）

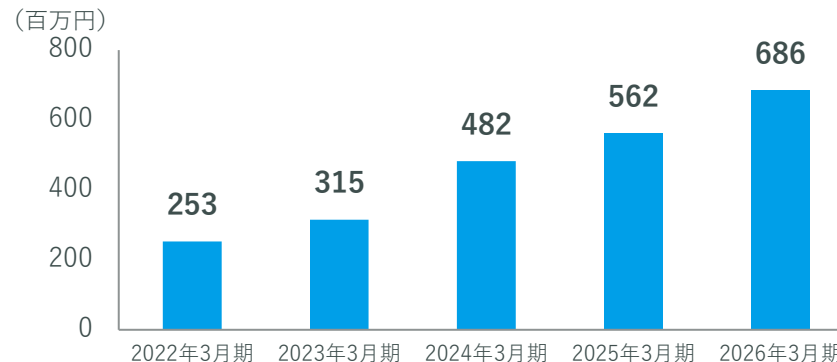


※出所：NIR提供データを弊社にて加工

総資産・純資産・自己資本比率 (%)



当期純利益



※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



会社概要



会社名	JTP株式会社 JTP Co.,Ltd.
本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー 14階
国内拠点	栃木、東京(本社)、大阪、京都、福岡
海外拠点	インド支店
施設	トレーニングセンター ・ 御殿山トレーニングセンター (東京・品川) テクニカルラボセンター ・ 東京テクニカルラボセンター (東京・五反田) ・ 関西テクニカルラボセンター (京都)
資本金	795,475,000円
設立	1987年10月31日
従業員	459名(2026年3月31日現在)
上場市場	東京証券取引所スタンダード 証券コード：2488 (2006年6月上場)
認定パートナー	Amazon Web Services APN アドバンスドコンサルティングパートナー IBM Silver Business Partner Microsoft Cloud Platform Gold コンピテンシー SoftBank AI エコシステム・パートナー LINE 公式パートナー



沿革

1987年 10月	日本サード・パーティ株式会社 設立
1992年 4月	本社にトレーニングセンターを設置、教育事業に進出
1994年 7月	東京テクニカルセンターを設置（現：東京テクニカルラボセンター）
11月	ライフサイエンス部門で化学分析機器サービス事業に進出
2003年 3月	ライフサイエンス部門で医療機器サービス事業に進出
2006年 6月	ジャスダック証券取引所に株式を上場
2011年 8月	ライフサイエンス部門で放射線事業（放射性物質測定機器の取り扱い）を開始
2012年 1月	放射能プレミアムドックセンターを開設
10月	世界標準のITスキルアセスメントテスト「GAIT」の提供を開始
2013年 6月	デジタルマーケティング事業に進出、「Wayin（ウェイイン）」の提供を開始
2014年 11月	グローバルIT人材育成支援の一環として、全国統一学生ICTテストにGAITの提供を開始
2015年 1月	ロボティクス事業に進出、ヒューマノイドロボット「NAO」に関するサービスを開始
2016年 11月	JTPインテグレーションセンターを開設
2017年 6月	AI事業に進出、「Third AI（サードアイ）」の提供を開始
2019年 4月	インド支店を開設し、インドでの事業展開を開始
2020年 5月	日商エレクトロニクス株式会社と資本業務提携を開始
12月	アースアイズ株式会社と資本業務提携を開始
2021年 4月	社名を「JTP株式会社」に変更



財務データ推移



(単位：百万円)

	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3
売上高	4,743	4,634	4,748	5,472	6,245	6,310	7,040	7,381	8,119	9,211	9,897
売上原価・ 営業原価	3,918	3,731	3,746	4,408	4,998	5,197	5,818	6,046	6,584	7,342	7,889
売上総利益	824	902	1,001	1,063	1,246	1,112	1,221	1,335	1,534	1,868	2,007
販売費及び 一般管理費	587	707	749	824	775	761	785	870	903	1,048	1,043
営業利益	237	195	251	238	470	351	435	464	631	820	963
経常利益	234	136	258	247	483	382	470	476	665	828	980
当期純利益	81	3	184	154	309	267	253	315	482	562	686

※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります

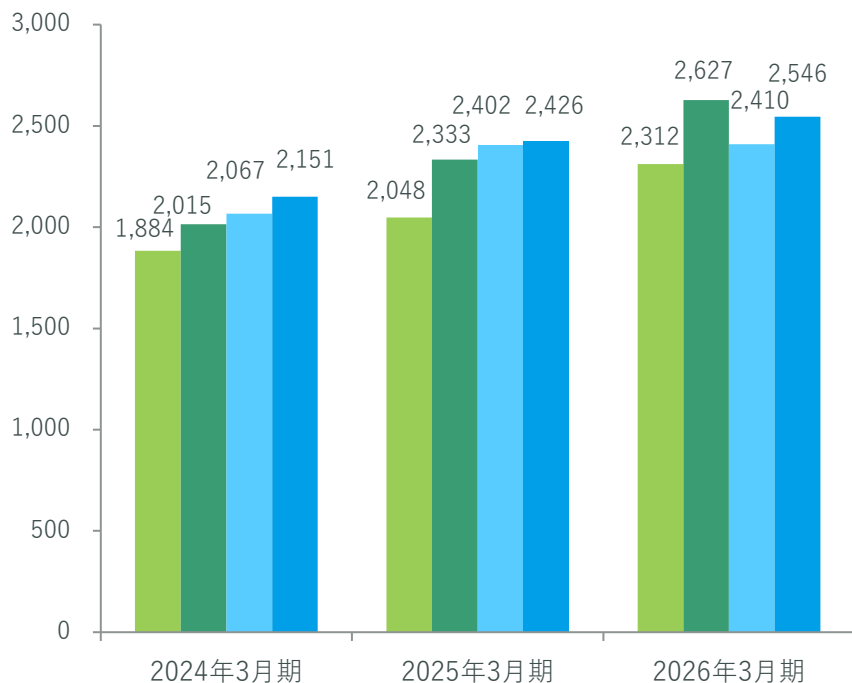


四半期別売上高・営業利益推移



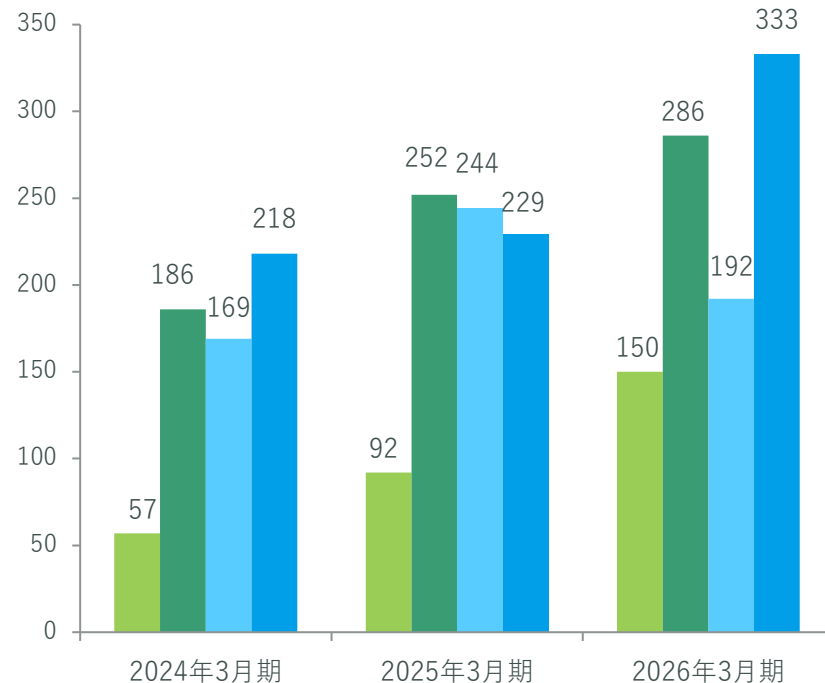
売上高

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q



営業利益

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q





Connect to the Future

JTP 株式会社

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.